

答え：4

解説：

- 1) 膿疱性乾癬でみられる病理所見。コイの海绵状膿疱とは、有棘層上層で好中球が大量に浸潤し、表皮細胞が破壊されて多房性の海绵状態を形成することである。
- 2) 歯状息肉症でみられる病理所見。ポートリエの微小膿瘍とは、多数の巣状の表皮内異型リンパ球浸潤のことである。
- 3) 皮膚描記法：先端の鈍なもの（爪やゾンデなど）で皮膚をこすって反応をみる試験。アトピー性皮膚炎なら→白色膨疹（dermographia alba）
蕁麻疹なら→隆起性膨疹（dermographia elevata）、または紅色膨疹（dermographia rubra）
- 4) ツンローの微小膿瘍とは、角層直下にみられる好中球による無菌性膿瘍のこと。尋常性乾癬でみられる病理所見。

6月18日

自然消退するのはどれか。・・・p356、398、389、380、376

- 1) 脂漏性角化症
- 2) ケラトアカントーマ
- 3) 基底細胞上皮腫
- 4) ケロイド
- 5) リンパ管腫

答え：2

解説：

- 1) 脂漏性角化症＝老人性疣贅（老人性のいぼ）。治療を必要とするものではないが、自然消退せず、加齢とともに増加する。
- 2) ケラトアカントーマは毛包に発生する良性腫瘍。大半が数か月の経過にて自然消退する。
- 3) 基底細胞上皮腫は顔面に好発する頻度の高い皮膚癌。自然消退しない。治療は外科的手術が基本。
- 4) ケロイドは結合組織の増殖による境界明瞭な紅色または褐色の扁平隆起。自然消退せず、難治性。
- 5) リンパ管腫は、リンパ管の形成異常によって生じたリンパ管の過形成と拡張による良性的の病変。自然消退せず、治療は外科的切除。

薬物アレルギーの診断に有用なのはどれか？（答え3つ）・・・p66～70

- 1) 貼付（パッチ）試験
- 2) 針反応
- 3) Tzanck 試験

- 4) 末梢血好酸球数測定
- 5) リンパ球刺激試験＜DLST＞

答え：1, 4, 5

解説：

- 1) 抗原検索のために、実際に抗原を接触させて反応を観察する検査。
- 2) ペーチェット病の患者の皮膚に針を刺すと、24～48時間後に紅斑や丘疹、膿疱が生じる反応。患者の皮膚の被刺激亢進性を反映している。
- 3) 細胞診のこと。天疱瘡や単純疱疹、帯状疱疹などに有効。
- 5) 末梢血リンパ球を薬剤とともに培養し、リンパ球増殖反応に伴うDNA合成をチミジンの取り込みにより測定する。T細胞の関与する薬疹において有効だが、感度が低いため性であっても即急な判断をしてはいけない。

6月27日

紅皮症の原因となりうるものをすべて選べ。・・・授業プリント、p122～p125

- 1) 乾癬
- 2) 薬剤
- 3) 内臓悪性腫瘍
- 4) アトピー性皮膚炎
- 5) 成人T細胞リンパ腫

答え：1, 2, 3, 4, 5（全部）

解説：紅皮症の原因・基礎疾患には、

①既存の皮膚疾患が増悪したもの

湿疹・皮膚炎群（アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎など）

乾癬、毛孔性紅色ひ癬疹、落葉状天疱症

②薬剤によるもの

③悪性腫瘍に続発するもの

皮膚T細胞リンパ腫、成人T細胞白血病・リンパ腫、白血病、内臓悪性腫瘍

④原因不明のものがある。

次の組み合わせで正しいものをすべて選べ。・・・授業プリント、p228～p235

- 1) 水疱性魚鱗癬接紅皮症・・・サイトケラチン ~~増~~ **11010**
- ② 尋常性魚鱗癬・・・フイラグリン **トランスグレルタミナーゼ**
- 3) 葉状魚鱗癬・・・ステロイドスルファターゼ
- 4) 伴性劣性魚鱗癬・・・トランスグルタミナーゼ **1**

⑤ 進行性紅斑角皮症・・・ロリクリン

答え：2, 5

解説：